

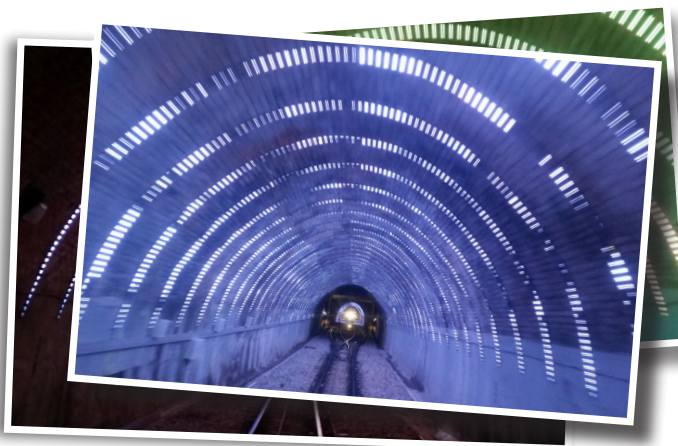


ケーブルカーで頂上へ

ケーブルカー展望台

ウェリントンの魅力を最大限に体験するには、深い歴史を持つケーブルカーは欠かせない見どころです。高台沿いに建てられたKelburn (ケルバーン) の家々の間を登り、ライトアップされたトンネルを抜けると見晴らしのいい展望台があり、ウェリントンの街を一望できます。

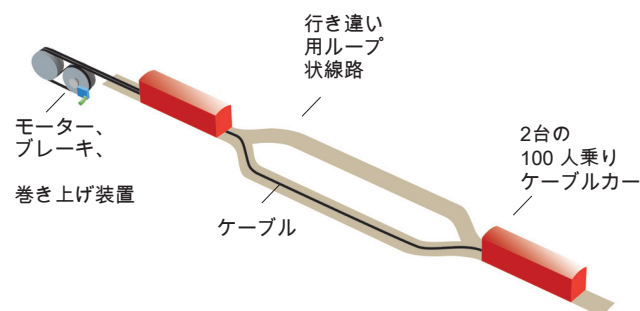
ケーブルカー博物館と植物園の入り口は展望台と隣接しています。



ケーブルカーの仕組み

ケーブルカーは単線線路で、中間地点に行き違いできるループ状の線路があります。車両には溝のある車輪と平らな車輪が左右一対で取り付けられており、溝のある車輪が行き違い用のループ状線路へ進路をそらす役割をする一方、平らな車輪は線路を乗り越えて単線線路への出入りを行う役割を担っています。ケーブルカーには数多くの安全装置が搭載されており、下記はその一例です。

- 各車両に取り付けられたグリップ式のブレーキ
- 耐震装置
- 乗客荷重センサー
- 荷重超過防止システム



ケーブルカーの歴史

ケーブルカーを最初に計画したのは、ウェリントンの実業家マーティン・ケネディとされています。ケネディはケルバーン地区を新たに開発していたアップランドエステートカンパニーにケーブルカーの敷設を働きかけました。そして、ケルバーン地区の測量と街区の計画を行っていたジェームズ・フルトンがケーブルカーの設計も担当しました。

1899年 着工

1902年 開業 開業後最初の週末には
2月22日 4000人以上もの乗客を記録しました。

ニュージーランドで学んだ
エンジニア
ジェームズ・フルトン



1904年 車両編成を追加し座席数を増やすとともに頂上に喫茶店が建てられました。

1933年 ケーブルカーの動力源が石炭から電気へ。

1978年 初代の車両が退役するのに伴い、現在も使用されているスイス製の車両へと切り替えられました。

その他の見どころ

ウェリントン植物園

天然林保護区、針葉樹、珍しい植物のコレクション、そして色とりどりの花が25ヘクタールにわたり展示されています。植物園を通り抜けながら街の中心部へ向かう道は下り坂で、気軽にウォーキングが楽しめます。入場無料



スペース プレース (天文台)

ケーブルカーの頂上から徒歩2分の場所にあり、マルチメディアを使った展示やニュージーランドの天文学史における貴重な実験資料の展示があります。ドーム型のプラネタリウムにてデジタル式の投影ショーをお楽しみいただけます。入場有料
www.museumswellington.org.nz



ジーランディア野生動物保護区

ケーブルカー頂上駅から無料シャトルバスで5分、ニュージーランド屈指のエコツーリズムをうたうジーランディアには、展示施設と225ヘクタールの野生動物保護区があります。入場有料
www.visitzealandia.com



ケーブルカー博物館

ケーブルカーの歴史をひも解いてみませんか？かつて機械室として使われていた施設がこの博物館となっており、2台の創業当初のケーブルカーとともに、ケーブルカーを急こう配から引き上げていた巻き上げ装置が展示されています。入場無料
www.museumswellington.org.nz



営業時間

ケーブルカーは通常10分おきに運行しています。

月曜～金曜	7:00am - 10:00pm
土曜	8:30am - 10:00pm
日曜・祝日	8:30am - 9:00pm
12月25日(クリスマス)は運休します。	

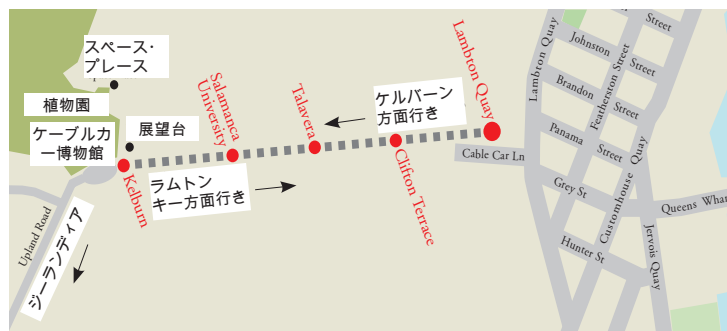
最新の運賃と運行表は公式サイトからご確認ください。
www.wellingtoncablecar.co.nz

お問い合わせ

Cable Car Lane
280 Lambton Quay,
Wellington 6011

電話: 04 472 2199
Eメール: info@wellingtoncablecar.co.nz

Lambton Quayの乗り場はCable Car Laneに入って突き当たりにあります。



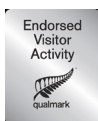
バリアフリー情報



ケーブルカーは駅構内・車両ともにバリアフリーとなっており、車いす・電動スクーター・ベビーカーでご利用いただけます。また、自転車の運搬は当社の判断により行われます。



ケーブルカーはWellington Cable Car Limitedが、誇りを持って所有、操業そして整備しています



120mを
5分で登る
全長612mの旅